

令和6年度
泉佐野市立児童発達支援センター
事業所における自己評価結果

令和7年4月

泉佐野市立児童発達支援センター
児童発達支援「木馬園」
泉佐野市子育て支援課

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7年 4月 21 日				
泉佐野市立児童発達支援センター						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	69%	31%	・活動により広いスペースの部屋を交代で使用するなど工夫しています。 ・親子で利用の際、狭いと感じるところがあるので活動により場所を変え工夫しています。	・基準はクリアしていますが、施設の老朽化はあるため、職員間で工夫をしながら環境の改善をしていきます。 ・令和8～9年度に施設の移改築を予定しており、施設整備に努めて参ります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	62%	38%	・子どもの状態に応じて応援体制を作っています。 ・様々な専門職を正規職員で配置され、体制は整っています。 ・状況に応じて、フリー職員などが応援に入るようにしています。 ・今年度より、正規の言語聴覚士が配置され、個別訓練の他、クラス巡回や食事介助などを通しての支援も行っています。	・保育士だけでなく、様々な専門職と連携を図り子どもに関わっていきます。また、活動に応じて個々に丁寧にやりとりをする場合は、職員同士で声を掛け合いながら対応していくようにしていきます。 ・地域の中核的役割を果たす機関として理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護職員、心理担当職員、保育士、児童指導員の全ての職種を配置して地域の関係機関と連携した支援の取組を進めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	53%	47%	・生活空間の環境設定は、集団の姿をみて子ども達が生活しやすいよう、動きやすいよう考え設定しています。 ・施設が古い中でも子ども達が使いやすいように工夫はしていると思います。 ・きれいに片付けることを心がけています。 ・バリアフリー化はできていませんが、子どもの状況に合わせて配慮しています。	・部屋によってはドアはレールになっており、座位保持のタイヤは引っかかるため、持ち上げるなど安全に配慮し、工夫をしています。 ・収納スペースが少ないことで、どうしても療育室内や相談スペースに物が多くなりがちになるなど、全ての利用者にとって十分な環境とは言えない部分もありますが、物の整理など空間の工夫をしています。 ・令和8～9年度に施設の移改築を予定しており、施設整備に努めて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	78%	22%	・狭い空間をどうすれば広く使えるか、物の配置など考え空間を作るようにしています。 ・保育室、トイレをいつも清潔に保つように意識しています。 ・老朽化していますが、月ごとに施設チェックを行い、可能な限り環境改善を図っています。	・施設点検を定期的に行い、子どもが安心・安全に生活できるよう努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	56%	44%	・個別の部屋があるわけではないが、その時に落ち着けるような静かな場所を見つけて、そこで気持ちに寄り添うようにしています。	・廊下の絵本スペースは落ち着ける場所としてよかったが、死角になっているという課題もあったため、今後設置場所の検討や職員巡回をしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	91%	9%	・学習会の内容など振り返りの機会を意識してつくっています。 ・担当チーム毎に振り返りや役割分担、個々の参画意識の向上の為に書類の見直しなどしています。 ・専門職間での連携のためのグループ会議、個別支援計画会議や保育間でのカリキュラム検討を行っています。	・必要事項は毎朝のミーティングで共有していますが、引き続き、職員会議や学習会などを通じ、共有機会を確保していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	12%	・保護者アンケートを実施しています。 ・保護者のセンターに対する要望や意見を反映する場として市と懇談会を開催し、施設整備、支援サービスの改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%		・定期的な職員会議を実施し、様々なことを意見を聞き取りながら確認検討、決定していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	66%	34%	・事業所における自己評価結果」について、第三者(市関係者、保護者等)に意見、評価を頂き、改善につなげています。	・「事業報告」及び「事業評価」についてご意見頂き、引き続き業務改善につなげてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・研修の機会は多くあります。 ・園内学習会と他機関を招いての研修会を行っています。 ・研修内容について今の課題に合っているか精査しています。 ・園内で各研修会の報告の機会を持っています。	・様々な研修で学びを深め、療育に活かしていけるよう、研修内容や実施方法を工夫し、職員の資質向上に努めます。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	97%	3%	・児童発達支援の総合的な支援の推進及び事業所の提供する支援の見える化を図ることを目的として、児童発達支援における支援プログラムの公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・こどもへのアセスメントを実施し、こどもと保護者のニーズや課題を分析し、児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・児童発達支援計画を作成する際に、職員が共通認識のもと、子どもの最善の利益を考慮するよう心掛けています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	97%	3%		・定期的に個別支援計画作成に伴う会議を実施し、関わる職員の情報共有を図ります。また、個別ファイルに保管するようにし、随時確認、共有できるようにしていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	84%	16%	・発達検査（新版K式）を定期的実施しています。	・検査結果を子どもの支援に活かすため、職員間で連携を図っていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	91%	9%	・具体的な支援内容と達成状況が保護者にもわかりやすいよう設定しています。また、口頭でも丁寧に伝えるよう心がけています。	・個別支援計画の形式を変更し、具体的な支援内容と達成状況が保護者にもわかりやすいものとなるよう改善に努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	97%	3%	・個別支援会議や毎月のカリキュラム検討会議で状況把握や課題分析を行っています。	・個別訓練プログラムなど単独でたてるものもありますが、所属グループの月間カリキュラムや日案は検討会議で職員間共有を図りながら作成していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	97%	3%	・保育観察など専門の立場から保育をみてもらって見直しを行っています。 ・子どもの姿、変化に対応して適宜変更して行っています。 ・毎月の検討会議で他職種間で共有、検討しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	91%	9%	・朝のミーティングにて確認するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	12%	・担任間での振り返りを基に日誌に記録するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・グループ療育、訓練後は日誌に記録しています。	・記録を通して課題を職員間で共有し、次の活動や支援について見直しをもって取り組めるよう話し合っていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・定期的なモニタリングを実施し、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	
関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	97%	3%	・可能な限り担当者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	97%	3%	・種々の会議を行っています。	・地域連携については、トライアングルプロジェクトや事業所合同説明会など、今後もより広げていけるように検討していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・こども園や幼稚園に通う子どもを対象に併行通園を実施しています。所属園に観察に行くなど連携も意識的に行っています。	・所属園との連携の際には、子どもの姿を中心にねらいや目的を共有するなど、相互理解を意識していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・転園、就学児に対しては療法士の巡回や引継ぎ資料や対面での引継ぎを実施しています。	
		(28～30は、センターのみ回答)			・センター主催の研修会や事業所連絡会を企画、運営しています。	

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	94%	6%		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	・大学教授や専門家など学識経験者を招いての園内研修会を実施しています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	91%	9%	・自立支援協議会には相談支援専門員が参加しています。また、市の要保護児童対策地域協議会に担当者が参加しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	・市内公立こども園との交流をする機会を設けています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・送迎時の口頭伝達や連絡ノートでのやりとりを通して、子どもの姿を共有できるようにしています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・支援プログラムによる研修の機会は現時点では設けていませんが、毎月、子育て教室を実施し、毎回様々なテーマで保護者向けの研修を行っています。 ・個別訓練や親子保育のを通じて保護者等に対する家族支援を行っています。	・子育て教室で様々な内容を検討していきます。 ・ペアレント・プログラム等の実施を検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・担当者より、わかりやすく説明できるよう心がけています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・子どもや保護者の意思の尊重、最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・定期的にグループ懇談や個人懇談を実施しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・保護者会の担当職員を中心に関わっています。	・現在、きょうだい同士の交流の場は特に設けていませんが、今後研究していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・子どもや保護者からの相談や申し入れについて、可能な限り迅速に対応できるよう、職員間での連携や情報共有をすすめています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・紙媒体やスマホアプリを使用して、活動概要及び行事予定などを定期的に配信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・個人情報の取り扱いには、今後も十分気をつけていきます。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・意思の疎通や情報伝達のための配慮を心掛けています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	59%	41%	・当センター療育修了児、転園児対象に月1回園庭を開放しています。	・行事開放については、新型コロナウイルスの流行以降実施に至っていないので、今後検討していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・毎月、避難訓練及び防犯訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・BCPを策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・利用を開始する前に看護師中心に、服薬や予防接種、てんかん発作の有無など、健康上の確認共有を丁寧に行っています。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・利用を開始する前に食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき献立を作成し、複数のチェック体制をとり食事を提供しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・保護者参加の避難訓練を年2回実施する中で、緊急時の迎え対応の動きを確認するなど、安全の確保についての共有を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・事故等の発生に伴い、軽症の場合は迎え時に保護者に状況や対応を伝えるようにしています。病院への搬送が必要な場合には、速やかに保護者と連絡をとり、状況を伝えた上で病院に同行してもらうようにしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・既定の書式に記入し、職員全員が周知できるようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・年度初めに全職員対象に研修を実施し、研修で学んだことを心に留めながら療育に取り組んでいます。	・職員間でより意識を高めていけるよう、学習会などを実施していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	91%	9%	・職員が十分理解し、保護者へ説明できるよう研修を実施しています。	・身体拘束等の指針に基づき対応します。 ・年度初めに全職員で研修を実施し、共通理解を深めます。 ・ケースに応じて組織的な決定をしていけるよう、定期的に会議を設けていきます。